

人間関係講座（コミュニケーション）第81回 [春]

ー自己理解と対人コミュニケーション能力のアップのためにー

担当者	グラバア 俊子（南山大学人文学部心理人間学科教授） 佐竹 一予（臨床心理士）
概要	この講座は、「体験学習」という方法を用いて、グループの人間関係について学んでいくものです。ラボラトリー方式の体験学習の入門講座として設定しています。1つの講座は2日間のプログラムで構成しています。 私たちは、会社や組織、家族や仲間関係など、常にグループの中に身を置いています。「グループの中の人間関係は複雑で難しい」ということをよく聞きます。その理由の1つとして、グループで何らかの仕事や課題に取り組む場合に、話や課題の内容（コンテンツ）に夢中になり、他者の気持ちやお互いの関係（プロセス）に目が向けられず、いつの間にかお互いの思いにズレが生じることが考えられます。 この講座は、以下の学習目標に向けて実施します。 ①グループの中で他者と関わる自分の特徴に気づく ②「コンテンツ」と「プロセス」とは何かを理解する ③グループの中での人間関係（グループプロセス）に目を向ける重要性に気づく この講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習（典型的な実習）と、グループに関する理論の小講義によって学習を深めています。グループの人間関係について理解を深めたい方、ラボラトリー方式の体験学習について知りたい方など、さまざまな方にお勧めです。 なお、この講座（または過去の人間関係講座<グループ>）を修了された方を対象に、グループの人間関係をさらに深く学ぶための「グループプロセス応用講座」が開催されます。（詳しくはこちらをご覧ください）
日程	火曜日 全10回 18:30～21:00 2010年 9月21日/28日、10月5日/12日/19日/26日、11月9日/16日/30日、12月7日 ※11月2日を除く
定員	30名
会場	南山大学 名古屋キャンパス D棟
受講料	20,000円（税込）
メルマガ講座報告	担当講師 グラバア俊子 記 今回は、仕事の関係上、突然担当者の変更をせざるをえなくなり、参加者の皆様には、お知らせとは違うことになり失礼いたしました。 佐竹先生には10回を通して担当していただき、川浦佐知子先生と中尾陽子先生には各2回担当していただきました。 このように入出入りがありご迷惑をおかけしましたが、人間関係研究センターの他の研究員に出会っていただくというメリットも少しはあったのではないかと考えております。 担当講師 佐竹 一予 記 第81回人間関係講座（コミュニケーション）は、9月21日～12月7日の間の火曜日（夜）、10回にわたり実施されました。自己理解、コミュニケーションに焦点をあてて行いました。 講座の中では、テキストではカバーできない部分に重点をおき、参加者がより豊かな体験ができるように留意しました。 参加者の皆さんは、各回、実習はもちろん、体験学習の核ともいえる“ふりかえり”にも熱心に取り組み、その中で多くの方が、自らの気づきや、お互いの率直なフィードバックの交換から「新しい自分に出会えた体験をすることができた」と感想を述べていました。 また、休憩時間にもメンバー同士の交流が活発に行われました。 終了後のアンケートでは、「実習を行った後、講義を受けることができるのでわかりやすかった」「コミュニケーションを深めることの楽しさを実感した」「日常的に気持ちの動きについて考えるようになった…」など、多くの貴重な意見をいただきました。